

2019年度

特定非営利活動法人  
京都府ライフセービング協会  
事業報告書



特定非営利活動法人京都府ライフセービング協会

# 目次

## I. はじめに

- ▶ 京都府ライフセービング協会のあゆみ 1
- ▶ 事業の概要と成果 2

## II. 具体的な事業

- 1-1 ライフセービングに関する事業（海水浴場の安全監視） 3-5
  - ▶ 天橋立海水浴場（文珠）
  - ▶ 府中海水浴場
  - ▶ 丹後由良海水浴場
  
- 1-2 ライフセービングに関する事業（臨海合宿の安全監視） 6-7
  - ▶ 四條畷学園小学校 臨海合宿
  - ▶ はつしば学園小学校 臨海合宿
  - ▶ 帝塚山学園中学校 臨海合宿
  
- 1-3 ライフセービングに関する事業（スポーツイベントの安全監視） 8-10
  - ▶ アイアンマン70.3セントレア・ジャパン
  - ▶ びわこトライアスロンin近江八幡
  - ▶ びわこトライアスロンin高島
  - ▶ 竹野オープンウォータースイム
  - ▶ 京都丹波トライアスロンin南丹
  - ▶ トライアスロン珠洲
  
- 2 ライフセービングに関する指導及び普及事業（JLAアカデミー） 11-16
  - ▶ BLS（心肺蘇生法+AED）講習会
  - ▶ ウォーターセーフティ講習会
  - ▶ 更新講習会
  - ▶ C級認定審判員養成講習会
  - ▶ 明治国際医療大学 救急救命学科 プール実習
  - ▶ 明治国際医療大学 救急救命学科 ライフセービング実習
  - ▶ 指導員派遣
  
- 3 青少年に対するライフセービング事業 17
  - ▶ 「カモン！キッズライフセーバー2019」
  
- 4 ライフセービングの競技事業 18
  - ▶ 全日本ライフセービング選手権 近畿ブロック予選
  - ▶ オーシャンサーフチャレンジin白浜2019
  
- III 総会 通常総会/パトロール報告会 19
  - JLA関西地区事例検討会2019
  
- 広報 Facebook・Instagram・Twitter フォロワー 20

# 京都府ライフセービング協会のあゆみ

- 2000年 7月 任意団体「舞鶴ライフセービングクラブ」設立 舞鶴市の神崎海水浴場で活動開始
- 2008年 7月 宮津市の天橋立海水浴場に拠点を移す。
- 2009年 4月 任意団体「京都ライフセービング」に名称変更
- 7月 新たに府中海水浴場で監視業務を開始
- 2010年 4月 「特定非営利活動法人京都ライフセービング」設立
- 2014年 7月 新たに丹後由良海水浴場で監視業務を開始
- 2018年 9月 任意団体「天橋立ライフセービングクラブ」に名称変更
- 2018年 12月 「特定非営利活動法人京都府ライフセービング協会」に名称変更
- 2019年 4月 公益財団法人日本ライフセービング協会加盟の京都府ライフセービング協会として本格始動  
天橋立LSC, 淡路島LSC, 大阪LSC, 神戸LSC, せんなん里海公園淡輪LSCの都道府県協会を担う。

## ▶ 2019 年度主な年間活動記録

				イ	ベ	ン	ト	名	場	所
4	月	13	日	(土)	NPO法人京都ライフセービング通常総会				多門院公民館	
6	月	9	日	(日)	アイアンマン70.3セントレア・ジャパン				愛知県 新舞子マリパーク	
		15	日	(土)	びわこトライアスロンin近江八幡				滋賀県 宮ヶ浜水泳場	
7	月	7	日	(日)	びわこトライアスロンin高島				滋賀県 高島B&G海洋センター&萩の浜	
		7	日	(日)	竹野浜オープンウォータースイム				兵庫県 竹野浜海水浴場	
		13	日	(土)	天橋立海水浴場 安全監視業務 ～8/25の土日祝日及び盆				宮津市 天橋立海水浴場	
		13	日	(土)	府中海水浴場 安全監視業務 ～8/18の土日祝日及び盆				宮津市 府中海水浴場	
		13	日	(土)	丹後由良海水浴場 安全監視業務 ～8/18の土日祝日及び盆				宮津市 丹後由良海水浴場	
		18	日	(木)	四條畷学園小学校臨海合宿 ～7/19				京丹後市 夕日ヶ浦	
		23	日	(火)	はつしば学園小学校臨海合宿 ～7/25				京丹後市 夕日ヶ浦	
		24	日	(水)	出船祭				宮津市 天橋立	
		25	日	(水)	帝塚山中学校臨海合宿 ～7/26, 7/28～7/29, 7/31～8/1				宮津市 天橋立	
8	月	5	日	(月)	明治国際医療大学プール実習 WS講習会				明治国際医療大学	
		25	日	(日)	京都丹波トライアスロン in南丹				南丹市 桂川 (大堰川緑地公園)	
		25	日	(日)	トライアスロン珠洲				石川県 鉢ヶ崎海水浴場	
		31	日	(土)	天橋立ビーチサイドBAR「Les Pins」2019 ～8/1				宮津市 天橋立海水浴場	
9	月	1	日	(日)	明治国際医療大学 BLS (CPR+AED) 講習会				明治国際医療大学	
		2	日	(月)	明治国際医療大学ライフセービング実習 (ベーシック講習会) ～6日				宮津市 京都府青少年海洋センター	
		7	日	(土)	全日本ライフセービング選手権 近畿ブロック予選				和歌山県 白良浜海水浴場	
		8	日	(日)	オーシャンサーフチャレンジin白浜2019				和歌山県 白良浜海水浴場	
10	月	19	日	(土)	パトロール報告会2019				舞鶴市総合文化会館 研修室	
		19	日	(土)	BLS (CPR+AED) 講習会兼更新講習会				舞鶴市総合文化会館 和室	
		20	日	(日)	関西ライフセーバーズ運動会				若狭和田海水浴場	
		26	日	(土)	ウォーターセーフティ講習会				京都府立青少年海洋センターマリールピア	
		27	日	(日)	BLS (CPR+AED) 更新講習会				明治国際医療大学	
11	月	2	日	(土)	C級審判養成講習会				明治国際医療大学	
		3	日	(日)	舞鶴湾パドリングチャレンジ2019～paddling for tomorrow～				舞鶴漕艇センター	
		17	日	(日)	JLA事例検討会				長岡京市 産業文化会館 会議室 2	
12	月	1	日	(日)	JLAシミュレーション審査会				若狭和田海水浴場	
		8	日	(日)	クリーンはしだて一人一坪大作戦				天橋立	
2	月	22	日	(土)	JLA指導員更新講習会				YIC京都貸し教室2号館6階 264教室	
		22	日	(土)	体力測定テスト				舞鶴市文化公園体育館アリーナ	

## 事業の概要と成果

「特定非営利活動法人京都ライフセービング」から「特定非営利活動法人京都府ライフセービング協会」へと変わり、1年が経ちました。京都府を中心とした広域にライフセービングを普及することを目的として、活動・運営を行う中、他クラブとの連携や、近畿地区事例検討会、共同での競技会運営等も行ってきました。

全国的な猛暑や海水浴離れが叫ばれている昨今ですが、下記の4つの事業を中心に活動しています。講習会等で繋がりがあがる明治国際医療大学との交流もより密度を増し、多くの学生がライフセービング活動に興味を持ち、クラブの構成員として活躍してくれています。

今年度はNPO法人化10周年という一つの区切りの年を迎えました。来年度は、組織力・人材育成・将来ビジョンを改めて見直しました。今後の10年20年を見据えた活動ができるようにしていきたいと思っております。

改めて、私共の活動にご支援ご協力をいただいている関係諸機関の皆様へ、厚く御礼申し上げます。

### ▶ 1-1 ライフセービングに関する事業（海水浴場の安全監視）

上記の通り、海水浴客の数は例年より少なかったように思います。近年は、水難事故だけでなく、ビーチ等での熱中症予防にも注意を払っています。自然条件等、厳しい監視環境でもありましたが、今年度も無事故で終えることができたのは、一つの大きな成果だと思っております。今後も、より安心して海水浴を楽しめる場となるよう、個人・団体のスキルアップと共に、組織力の向上を通して、更なるライフセービングスピリッツの普及もめざしたいと思っております。

### ▶ 1-2 ライフセービングに関する事業（臨海合宿の安全監視）

例年ご依頼のある臨海合宿では、安全監視だけでなく、猛暑のための対策・対応も考えた関わり方をさせていただきました。運営においてライフセーバーの意見を参考にさせていただくことも多いため、よりの確で説得力のある発言・行動をすることが大切であることを感じました。どの臨海合宿も事故なく終えることができ、子どもたちの元気な姿や笑顔に出会うことができました。

### ▶ 1-3 ライフセービングに関する事業（スポーツイベントの安全監視）

天候・海象にも大きく左右され、それぞれの立場のスタッフ間連携が重要である各種大会ですが、年々ライフセーバーの意見を重要視してくださり、それが反映された内容になっていることを感じます。特に医療チームの連携等は、我々のクラブ運営やガード体制にも非常に参考になるものであることを強く感じています。

## ▶ 2 ライフセービングに関する指導及び普及事業（JLAアカデミー）

2020年東京オリンピック・パラリンピックのライフガードに、全国のライフセーバーが携わることとなります。それも機に、ライフセーバーの認知度はさらに増すことが予想され、指導員を充実させることが、「水辺の事故ゼロ」をめざす上で重要になります。全国の講習会に指導員として携わることも多く、他クラブとの連携・交流も増えてきました。個人と協会のレベルアップのためにも、引き続き指導員講習の機会を多く設け、ライフセービングの普及を加速させたいと思っております。

## ▶ 3 青少年に対するライフセービング事業

例年同様、日本財団の助成を受けて「カモン！キッズライフセーバー」というイベント名でジュニアライフセービング教室を開催しました。今年度は3回の開催で、子どもたちは普段できない海の楽しみ方を体験しました。楽しさの中から、自分の命は自分で守ること、避けるのではなく安全に水とつき合うにはどうすればいいのかを体験することができました。今後も、他方面のジュニア教室にも関わらせていただき、その学びを共有していきたいと思っております。

## ▶ 4 ライフセービングの競技事業

今年度もいくつかの大会で、選手・審判員・安全課と多岐に渡って関わることができました。ライフセービングスポーツは、全てがレスキューに繋がっています。そのスキルアップは、確実に普段の監視活動に活かされます。2020年度、当協会はこれまでも増して大会運営に大きく携わることとなります。これをライフセービングの普及・レスキュー技術の向上、そして「水辺の事故ゼロ」に繋げていきたいと思っております。

## 1-1 ライフセービングに関する事業（海水浴場の安全監視）

### ▶ 天橋立海水浴場（文珠）

#### ① パトロール概要

監視期間	2019年7月20日～8月25日の土日祝及び8月13日～15日
監視時間	9時～17時（8時間）
監視日数	16日間

#### ② レスキュー概要

エマージェンシーケア 死亡／蘇生	救急車要請	予防対応	応急手当	迷子対応
0人 / 0人	0件	0件	50件	2件

#### ③ パトロール総括

基本的には穏やかな海象であるビーチだが、観光船による引き波、突発的な波の発生や突風には十分な注意が必要である。

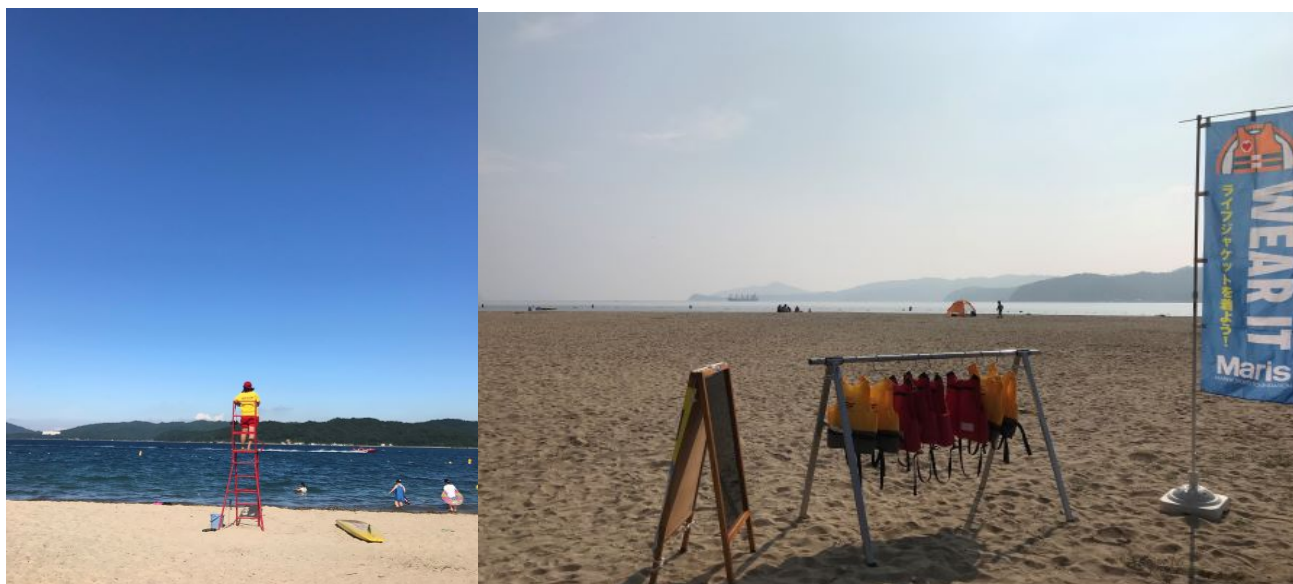
浮き具の形も多様になっており不安定で転倒しやすいものも多い。波打ち際で波にすくわれそうになる子どもも見られたため、それらにも注意し、保護者にも声をかける等しながらパトロールを行った。迷子対応も2件あり、子どもから目を離さないようアナウンス等での呼びかけも行った。

水中での怪我により病院受診を勧める案件もあり、休日診療の病院を把握し案内することの必要性も感じた。

今年度はMaris様の協力の元、ライフジャケットレンタルステーションを設置した。

アナウンスで安全の呼びかけをすると共にライフジャケットレンタルの案内をすることで利用される遊泳客の方も多かった。ライフジャケットの正しい着用方法やビーチでの安全な楽しみ方を伝えることで水辺の事故防止の一助となった。

ジュニアプログラムも期間中3回実施することができ、多くの子どもたちがライフセービングに触れる機会となった。また、リピーターとして参加する親子もおり、今後もより充実したプログラムの企画・運営が求められている。



## 1-1 ライフセービングに関する事業（海水浴場の安全監視）

### ▶ 府中海水浴場

#### ① パトロール概要

監視期間	2019年7月20日～8月18日の土日祝及び8月13日～15日
監視時間	9時～17時（8時間）
監視日数	14日間

#### ② レスキュー概要

エマージェンシーケア 死亡／蘇生	救急車要請	予防対応	応急手当	迷子対応
0人 / 0人	0件	0件	3件	1件

#### ③ パトロール総括

比較的遊泳客の少ないビーチであり、地元小学校の遠泳大会があったり、地元の子ども、家族が自転車で訪れる様子が見られ、地元に密着したビーチである。

毎年のように変化する地形によって目視が難しいエリアが多くなっている。波打ち際から沖側数メートルは石が多く、すぐに水深が深くなっているため注意が必要である。また、夕方から海に入る遊泳客も多く、監視時間を過ぎても遊泳されていることも多かったため安全の声掛けを行い、業務を終了するようにした。

ガードメンバーが多い日はレスキューボードによる沖からのパトロールを行った。

浜だけではなく沖からもパトロールしていることは、遊泳客にとっても安心材料の一つになると思われる。



## 1-1 ライフセービングに関する事業（海水浴場の安全監視）

### ▶ 丹後由良海水浴場

#### ① パトロール概要

監視期間	2019年7月20日～8月18日の土日祝及び8月13日～15日
監視時間	9時～17時（8時間）
監視日数	14日間

#### ② レスキュー概要

エマージェンシーケア 死亡／蘇生	救急車要請	予防対応	応急手当	迷子対応
0人 / 0人	0件	0件	13件	0件

#### ③ パトロール総括

例年より遊泳客は期間全体で減少しているがビーチが広範囲である。本部より波打ち際が全く目視できないこともあり、遊泳客の入りに対応してビーチパトロールやレスキューボードによる沖からのパトロールを行い、声掛けやガード体制を工夫した。


海底の地形によっては、波打ち際からテトラまで歩いて行ける場所もあり、テトラ付近での切創、擦過傷の怪我があった。

大きな浮き具で遊ぶ方も多く、浮き具の種類も年々多様化しており、風の強い日は浜からテトラ方向に流されたり、流れていく浮き具を追うことで足の立たないところに入ってしまったりとヒヤリとする場面もあった。これらのことを遊泳客に伝えていくことで水辺の事故防止に繋げていきたい。




## 1-2 ライフセービングに関する事業（臨海合宿の安全監視）

### ▶ 四條畷学園小学校臨海合宿

開催日時	2019年7月18日（木）～7月19日（金）		
開催場所	夕日ヶ浦海水浴場（京丹後市網野町）		
主催・依頼	四條畷学園小学校/名鉄観光サービス（株）		
参加者/スタッフ	参加者 180 名	スタッフ 30 名	
ライフセーバー	山本良徳、中村佐知子、丸田純也（KLA公募）		
<p>平日という事もあり、ライフセーバーの数が集まらず、KLAからの公募を行った。</p> <p>荒天のため、プログラムが中止になった部分もあった。</p> <p>学校とは、今までの積み重ねもあり、適度なコミュニケーションが取れたので良かった。</p> <p>今後の課題としては、ハンドシグナルは最低限伝えたい知識だと感じた。</p>			
			

### ▶ はつしば学園小学校臨海合宿

開催日時	2019年7月23日（火）～7月25日（木）		
開催場所	浜詰海水浴場（京丹後市網野町）		
主催・依頼	はつしば学園小学校/名鉄観光サービス（株）		
参加者/スタッフ	参加者 95 名	スタッフ 名	
ライフセーバー	山本良徳、宮武利樹		
<p>初日は風が強く、講習開始から徐々に波が高くなっていったため、途中から遊泳禁止となり。予定されていた実習が同時刻に中止となった。</p> <p>2日目以降は天候に恵まれ、海面も風いでいたため、良いコンディションで水泳訓練に臨むことができた。1グループにつき教員2名、ライフセーバー2名と合わせて4名が動き回って監視を行った。</p> <p>安全面への配慮として、泳力未熟者にはヘルパーが装備されており、教員同士のコミュニケーションも活発であった。</p> <p>最終日の浜遊びは、水深の浅いところで行われたため、児童との近接時の安全を優先し、レスキューチューブのみでのガードとした。</p> <p>初日の荒天状況下にて、発声による意思の伝達が不適であったため、今後の改善としてハンドシグナルの活用を提案した。</p>			
			



## 1-2 ライフセービングに関する事業（臨海合宿の安全監視）


### ▶ 帝塚山中学校臨海学舎

開催日時	2019年7月24日（水）～8月2日（金）		
開催場所	浜詰海水浴場（京丹後市網野町）		
主催・依頼	帝塚山中学校		
参加者/スタッフ	参加者 410 名	スタッフ 2 名	
ライフセーバー	山本良徳、竹内啓、宮武利樹、中村佐知子		
<p>実習は第1～3班の構成で、3日ずつに分割して実施された。各班で更に10班ほどに別れ、うち半分が遠泳を実施、もう半分が水泳能力測定を行った。</p> <p>遠泳のグループにはボート5艇(教員)、RB2名(LS)で付添い、隊列をぐるりと囲むように編隊を組み、監視した。生徒の休憩等はあったが、ピックアップが必要な事案は発生しなかった。</p> <p>帝塚山中学校の臨海学舎は今回が最後であり、教職員が一丸となって取り組む姿勢が強くみられた。また、先生方が積極的にLSとコミュニケーションを図ってくれたため、高品質な意思疎通が実現し高密度の連携がとれた。</p> <p>夜には懇親会も実施され、臨海学舎のあり方や、教育現場でのLSの活用や関わり方について活発な意見交換ができた。</p> <p>今後とも、いかに早く現場の人間たちでの信頼関係を構築し、質の高い連携を実現するかが課題だと感じた。</p>			




## 1-3 ライフセービングに関する事業（スポーツイベントの安全監視）

### ▶ アイアンマン70.3セントレア・ジャパン

開催日時	2019年6月9日（日）		
開催場所	新舞子海水浴場（愛知県知多市）		
主催・依頼	アイアンマン70.3セントレア知多半島ジャパン実行委員会（NPO法人愛知県ライフセービング協会）		
参加者/スタッフ	参加者	名	スタッフ
ライフセーバー	山本良徳、土谷こころ、土谷ひろみ、近藤七星、新井直希、竹内一登、吉田伊吹、野村陽樹		
<p>昨年、事故が起ってしまった大会。今回はその経験から、LSの人数が増やされたりと、昨年より改善された事が多かった。その一つ、LSからの問いかけに対して選手が『了解』のサインで答えるという約束事があり、声掛けの際の判断に有効に活用出来た。</p> <p>外国の方も多く参加されていたが、共通理解されていて良かった。橋の上からもLS位置の指示があり、わかりやすかった。</p> <p>また、定点にRWCが配置され安心感があった。</p> <p>しかし、橋下からゴールまでの直線上にLSやRWCが入ってしまう事があり、選手の視界の妨げになってしまった事もあり、監視の際の位置取りは十分に気をつけ、LS間でも声を掛け合う事が必要だと感じた。</p>			
			

### ▶ 第4回びわ湖トライアスロンin近江八幡

開催日時	2019年6月16日（日）		
開催場所	近江八幡市宮ヶ浜周辺及び大中の湖開拓地（近江八幡市）		
主催・依頼	びわ湖トライアスロンin近江八幡実行委員会		
参加者/スタッフ	参加者	531 名	スタッフ
ライフセーバー	竹内啓、山本良徳、原至生、土谷こころ、寺本誠、石井佑子、中畑紀美恵、浜田真、武田隆秀、松本まりな		
<p>コースはダイヤ型の1点が陸上、沖側の3点を時計回りに2周（1周750m）周回するコースであった。湖に向かって左前方から右後方への風が強く、その影響から終始、波、うねりがあった。前日にメディカルチームとの打合せ、コース及び会場の概略を確認できたことは良かった。また、当日の朝にもRWCからメディカルチームへの引継ぎ要領について確認することができた。</p> <p>クラブ内では、事前のミーティングや、互いにカバーしあうことで連携できているように感じた。カヌー、サーファー、水上バイク、スタッフ等も事前に打合せの時間をとることができればなお良くなると感じた。特に、水上バイクとは、開始直後のリタイヤ多発時の位置取りについての打合せが必要と感じた。</p> <p>クラブとしては、RWCを取り回せる人員を育成が課題である。</p>			
			

### 1-3 ライフセービングに関する事業（スポーツイベントの安全監視）

#### ▶ 第31回びわこトライアスロンin高島

開催日時	2019年7月7日（日）		
開催場所	萩の浜（滋賀県近高島市）		
主催・依頼	（一社）滋賀県トライアスロン協会		
参加者/スタッフ	参加者	598名	スタッフ名
ライフセーバー	山本良徳、石井佑子、武田隆秀、新井直希、西田光希、松本まりな		
<p>運営側及びガードメンバーとの打ち合わせにより、タイムアップの時間やピックアップ場所、ウォーミングアップの範囲等について十分に把握・情報共有しておくべきだった。ガードメンバー同士で指示を出し合う等、連携のとれたガードができたが、一方、カヌーやダイバーなど他のメンバーとの連携が上手くいかなかった点もあったので、改善していきたいと思う。風が強く、流される泳者も多かったが、水深が浅いこともあり、比較的安全に完泳していた。</p> <p>屋内プールでは、監視範囲を分担することで、しっかりとガードをすることができた。</p> <p>今回から学生選手権が行われるようになったので、次回からブース設営ができれば、ライフセービングの活動を多くの人に知ってもらえる広報効果が大きいと感じた。</p>			



#### ▶ 第9回 竹野浜オープンウォータースイミング

開催日時	2019年7月7日（日）		
開催場所	竹野浜海岸（兵庫県豊岡市）		
主催・依頼	たけの観光協会/NPO法人神戸ライフセービングクラブ		
参加者/スタッフ	参加者	414名	スタッフ名
ライフセーバー	土谷こころ、西村友尚、近藤七星、竹内一登、野村陽樹、吉田伊吹		
<p>海況が悪く距離短縮で行われることとなった。          1.0km→800m 2.5km→1.6km（800m2周回）          折り返しブイが以前と比べ大きくなり、見やすくなったが、監視船通行のためコースブイが途切れていたため、コースを間違える選手もいた。キャップのナンバーが右側だったため、両方にあるほうが監視しやすいと感じた。また、1.0kmのレース中に2.5kmの選手数名がアップを始めていたので、アップは時間をしっかり区切り、レース中は行わないように選手にアナウンスを徹底して欲しいと感じた。また、緊急時のピックアップポイントはアップエリアにせず、クリアしておくべきだと思う。</p> <p>今回、コース変更により突堤にLSを配置できたことで、コース全体</p>			



## 1-3 ライフセービングに関する事業（スポーツイベントの安全監視）

### ▶ 京都丹波トライアスロンin南丹2019

開催日時	2019年8月25日（日）		
開催場所	桂川（京都府南丹市）		
主催・依頼	京都丹波トライアスロンin南丹大会実行委員会		
参加者/スタッフ	参加者	384名	スタッフ名
ライフセーバー	竹内啓、原至生、寺本誠、小出直樹、西村友尚、浅田ケイン、奥田侑眞、伊藤玲美、竹内一登、野村陽樹、吉田伊吹		
<p>川をスイムコースに設定している大会。 濁りによって視界は不良であったが、流れはそれほど速くはなかった。 スタッフ間の連携が密にできており、救急体制が確立されているのもこの大会の特徴。 コース幅の狭さと陸との近さにより、ボードのコントロールと陸上班との連携が重要な中、LSは各自の配置も意識しながら、連携をとって臨機応変にカバーし合うことができた。 レース数が多く、その間隔も均等ではなかったため、集中力の持続が課題でもあった。 また、RWCとの連携シミュレーションをもっと重ね、よりスムーズな対応をできるようにすることが必要である。普段のトレーニング、そしてメンバー間の連携がその改善につながると感じた。</p>			



### ▶ トライアスロン珠洲

開催日時	2019年8月25日（日）		
開催場所	鉢ヶ崎海水浴場（石川県珠洲市）		
主催・依頼	NPO法人大阪ライフセービングクラブ		
参加者/スタッフ	参加者	1,590名	スタッフ名
ライフセーバー	山本良徳、土谷こころ、土谷ひろみ、高浦悠希、西田光希、浜田真、近藤七星、新井直希		
<p>ウォーミングアップ時のガードが手薄である中で泳者がサイドに広がっていた。スタート前の段取りに時間がかかり、選手スタート前に各配置につくことができなかつたり、最初にシーバーの感度チェックを行えなかったなど準備不足な点があった。 また、RWCのスレッドの紐の本数不足やIRBのエンジン不備など資器材の不備が多かった。以後、このような事が無いようしっかり確認していきたい。 第1ターンの復路で直進してコースアウトする選手が多く、コース誘導にライフセーバーが回らざるを得ない状況となっていたため、改善されると良いと感じた。強い流れ、うねりの中でスイム競技を行う判断はなかなか難しいものだった。 重溺ピックアップゾーンに遊泳客が入らない様にアナウンスを徹底するべきだと感じた。</p>			



## 2 ライフセービングに関する指導及び普及事業



### ▶ BLS (CPR+AED) 講習会兼認定ライフセーバー更新講習会

開催日時	2019年10月19日 (土)		
開催場所	舞鶴市中総合会館 (京都府舞鶴市)		
主管	京都府ライフセービング協会		
受講者/スタッフ	受講者 7 名	スタッフ 名	
インストラクター	山本良徳、竹内啓、原至生		
<p>新規受講者・・・非常に意欲的、協力的に受講されていた。座学の内容が入りにくい方もいたが、丁寧に指導すること、分かりやすく説明することの大切さを指導する側も学びとなった。                  更新受講者・・・できると思っていた事が、抜け落ちている部分もあり、普段から反復練習を行う大切さを感じた。</p>			

### ▶ ウォーターセーフティ講習会

開催日時	2019年10月26日 (土)		
開催場所	京都府青少年海洋センター・マリーンプア (京都府宮津市)		
主管	京都府ライフセービング協会		
受講者/スタッフ	受講者 2 名	スタッフ 3 名	
インストラクター	土谷こころ、竹内啓		
<p>受講者2名と少人数での開催。                  実技は、スタッフ参加してくれたメンバーを交えておこなった。                  海でのWSの講習はクラブとしては初めての試みであった。スローの実技では、室内では感じられない風の影響などを感じたりと、自然水域ならではの経験ができた。</p>			

## 2 ライフセービングに関する指導及び普及事業



### ▶ 更新講習会（認定ライフセーバー）

開催日時	2019年10月27日（日）		
開催場所	明治国際医療大学（京都府南丹市）		
主管	京都府ライフセービング協会		
受講者/スタッフ	受講者 26 名	スタッフ 1 名	
インストラクター	土谷こころ、竹内啓		
<p>受講人数が多かったが、器材が十分あったため、繰り返し実技練習ができた。受講生も学科、実技ともに積極的に参加し、復習していた。</p> <p>資格取得後、実際にライフセービング活動には参加できていなかったという受講者もいたが、今回の更新講習で再びライフセービングに関心を持ち、ビーチでの活動に参加したいとの声が聞かれたことは良かった。</p>			

### ▶ C級認定審判員養成講習会

開催日時	2019年11月2日（土）		
開催場所	明治国際医療大学（京都府南丹市）		
主管	京都府ライフセービング協会		
受講者/スタッフ	受講者 19 名	スタッフ 1 名	
インストラクター	水川雅司（日本ライフセービング協会 競技運営・審判委員会）		
<p>ライフセービングを競技の観点から学ぶことができる貴重な講習であるため、受講者からは積極的に質問が飛び交う有意義な講習となった。</p> <p>また、競技の面を知ることで、さらにライフセービングに対する理解を深めることにも繋がった。</p>			

## 2 ライフセービングに関する指導及び普及事業



### ▶ 明治国際医療大学救急救命学科（プール実習）

#### ウォーターセーフティ講習会

開催日時	2019年8月5日(月)		
開催場所	明治国際医療大学及び南丹市園部中央プール		
主催・依頼	明治国際医療大学		
受講者/スタッフ	受講者 61 名	スタッフ	教職員及び補助学生
インストラクター <small>太文字は京都府LS協会所属</small>	山本良徳・土谷こころ・田村浩志・須藤竜乃介・西岡あゆみ		
<p>3年目になるプール実習の初日にウォーターセーフティ講習会を開催した。今年度から、スタッフが明治国際医療大学の上級生のみになり、講習会をはじめ、プール実習として新たな体制でのスタートとなった。指導員も例年の指導員に加え新たな指導員も入り、多方面で広がりがあった講習会だった。60人を超える受講学生の実習内容はもちろんであったが、お堀にプールがあるという珍しい環境での実習は、見た目にも圧巻であった。</p>			

### ▶ 明治国際医療大学救急救命学科（ライフセービング実習）

#### BLS（心肺蘇生+AED）講習会

開催日時	2019年9月1日(日)		
開催場所	明治国際医療大学		
主催・依頼	明治国際医療大学		
受講者/スタッフ	受講者 61 名	スタッフ	教職員及び補助学生
インストラクター <small>太文字は京都府LS協会所属</small>	山本良徳・原至生・土谷こころ・田村浩志・佐藤洋二郎・箱部雄太		
<p>充実した環境と経験豊富な指導員メンバーにより、大人数でも質の高い講習会となった。基本的な知識・技能は習得している受講生であるため、「こなす」ではなく「高める」ことに重きをおいた。手技を重ねる中で、互いの気づきを共有し、アドバイスし合う姿も見られるようになり、コミュニケーションの重要さも改めて体感している様子が見られた。これからさらにたくましく成長されるであろう受講生に、期待が高まる。</p>			

## 2 ライフセービングに関する指導及び普及事業



### ▶ 明治国際医療大学救急救命学科（ライフセービング実習）

#### ベーシック・サーフライフセーバー講習会

開催日時	2019年9月1日(日)～6日(金)	
開催場所	明治国際医療大学及び宮津市青少年海洋センター	
主催・依頼	明治国際医療大学	
受講者/スタッフ	受講者 64名	スタッフ 中村佐知子、教職員及び補助学生
インストラクター 太文字は京都府LS協会所属	山本良徳・竹内啓・土谷こころ・佐藤洋二郎・風間隆宏	
	水川雅司・田村浩志・原伸輔・玉木力也・須藤竜乃介	

大学として3回目のライフセービング実習は、学内スタッフとJLA指導員のみで実施をする初めての实習となりました。ベーシックサーフライフセーバーの資格取得プログラムと、大学独自の実習プログラムが5日間に凝縮をされ、中身の濃い実習に携わらせていただきました。

運営体制としても、これまではJLA主催プログラムとして運営をしてきましたが、今回の実習からは京都府ライフセービング協会が主催することとなり、全国から集った指導員と共にKLA所属のサーフ指導員がすべて実習指を担当することができました。ホームである宮津市の海での実習からライフセービングに出会い、天橋立で浜ガードに入る先輩学生たちが学生スタッフとして関わり、ライフセービングの繋がりを感じるとともに、多くの学生が同時進行で特異な実習を進行していく難しさや、指導の工夫もさらに必要であると学び多き実習となりました。





## 2 ライフセービングに関する指導及び普及事業



### ▶ 指導員派遣

講習会名	アドバンス・サーフ・ライフセービング講習会
開催日時	2019年4月20日、21日
開催場所	淡輪海水浴場（大阪府岬町）
依頼元	NPO法人神戸ライフセービングクラブ
派遣インストラクター	土谷こころ

講習会名	BLS（CPR+AED）講習会
開催日時	2019年5月11日
開催場所	若狭和田観光協会（福井県高浜町）
依頼元	福井県ライフセービング協会
派遣インストラクター	原至生

講習会名	BLS（CPR+AED）講習会
開催日時	2019年5月11日
開催場所	関西学院千里国際高等部（大阪府箕面市）
依頼元	NPO法人神戸ライフセービングクラブ
派遣インストラクター	土谷こころ

講習会名	ウォーターセーフティー講習会
開催日時	2019年5月12日
開催場所	関西学院千里国際高等部 プール（大阪府箕面市）
依頼元	NPO法人神戸ライフセービングクラブ
派遣インストラクター	土谷こころ

講習会名	ウォーターセーフティー講習会
開催日時	2019年5月18日
開催場所	鳴門教育大学（徳島県鳴門市）
依頼元	香川県ライフセービング協会
派遣インストラクター	土谷こころ

## 2 ライフセービングに関する指導及び普及事業



### ▶ 指導員派遣

講習会名	BLS (CPR+AED) 講習会
開催日時	2019年5月19日
開催場所	川内公民館 (徳島県徳島市)
依頼元	香川県ライフセービング協会
派遣インストラクター	土谷こころ

講習会名	プールライフガーディング講習会
開催日時	2019年5月26日
開催場所	勤労青少年水上スポーツセンター (愛知県碧南市)
依頼元	愛知ライフセービングクラブ
派遣インストラクター	土谷ひろみ

講習会名	ベーシック・サーフ・ライフセービング講習会
開催日時	2019年5月25日、26日、6月1日
開催場所	淡輪海水浴場 (大阪府岬町) ・アジュール舞子海水浴場 (兵庫県神戸市)
依頼元	NPO法人神戸ライフセービングクラブ
派遣インストラクター	土谷こころ

講習会名	ウォーターセーフティ講習会
開催日時	2019年7月10日
開催場所	大阪府立門真スポーツセンター (大阪府門真市)
依頼元	大阪府立摂津高校 (公益財団法人日本ライフセービング協会)
派遣インストラクター	山本良徳・土谷こころ

講習会名	プール・ライフガーディング講習会
開催日時	2019年9月15日、16日
開催場所	アクション福岡 (福岡県福岡市)
依頼元	新宮ライフセービングクラブ
派遣インストラクター	山本良徳

### 3 青少年に対するライフセービング事業

#### ▶ ジュニア・ライフセービングプログラムin天橋立

開催日	2019年8月12日（月）		
開催場所	天橋立海水浴場（文珠）		
参加者/スタッフ	参加者 11名	スタッフ 5名	

開催日	2019年8月14日（水）		
開催場所	天橋立海水浴場（文珠）		
参加者/スタッフ	参加者 11名	スタッフ 5名	

開催日	2019年8月17日（土）		
開催場所	天橋立海水浴場（文珠）		
参加者/スタッフ	参加者 8名	スタッフ 7名	徳島スタッフ2名含む

#### プログラム

- ・自己紹介・チームビルディング・ビーチクリーン・水慣れ・ライフジャケット体験
- ・レスキューチューブ体験・ニッパーボード体験・修了式

約1月前からジュニアプログラムの募集を開始し、3日間開催で延べ30名の参加がありました。最も大切にしたいことは、子どももライフセーバーもみんなが楽しいプログラムです。初めて合う友達やライフセーバーたちと仲良くなり、改めて海で遊ぶ楽しさを感じてもらえるようにプログラムを計画しました。特に14日のプログラムでは予期せぬ台風の接近によって、波が立つ環境ではありましたが、この波を楽しまないのは勿体ないとボディーフラインやニッパーボードでのサーフィン体験することができました。もちろんプログラムの実施に際し入浜客の協力があり、ライフセーバーがいるからこそ可能となるプログラムであったと思いますし、ファミリー層の利用が多い海水浴場であるからこそ、子どもたちに海で遊ぶ楽しさと自然の厳しさの両側面を感じてもらえるプログラムを今後計画実施していく必要を感じました。

子どもたちの「楽しかったから、またやりたい！」の声に応えられるように、来年に向けて広報やプログラムの計画等を再考し、より海と触れ合い、海が好きになるジュニアプログラムを実施したいと思います。



## 4 ライフセービングの競技事業

### ▶ 全日本ライフセービング選手権 近畿ブロック予選

開催日時	2019年9月7日（土）		
開催場所	白良浜海水浴場（和歌山県白浜町）		
主催	公益財団法人日本ライフセービング協会		
選手 / 審判員	選手 82 名	審判員 2 名	山本良徳・土谷ひろみ
安全課	土谷こころ・近藤七星・野村陽樹・竹内一登		

本協会として大会運営にあたる安全課の取りまとめを行った。  
選手、審判員、安全課として大会に関わった。



### ▶ オーシャンサーフチャレンジin白浜2019

開催日時	2019年9月8日（日）		
開催場所	白良浜海水浴場（和歌山県白浜町）		
主催	オーシャンサーフチャレンジin白浜2019実行委員会		
選手 / 審判員	選手 137 名	審判員 4 名	山本良徳・土谷ひろみ・石井佑子・高浦悠希
安全課	土谷こころ・近藤七星・野村陽樹・竹内一登		

本協会として大会運営にあたる安全課の取りまとめを行った。  
選手、審判員、安全課として大会に関わった。



### Ⅲ 通常総会/パトロール報告会/事例検討会

#### ▶ 2019年度通常総会

開催日時	2019年4月13日（土）
開催場所	舞鶴市 多門院公民館

- ・ 2018年度事業報告
- ・ 2018年度決算報告
- ・ 2018年度監査報告
- ・ 2019年度事業計画（案）
- ・ 2019年度予算（案）他



#### ▶ 2019年度パトロール報告会

開催日時	2019年10月19日（土）
開催場所	舞鶴市 中総合会館

- ・ 各浜活動報告
- ・ 受託イベント報告



#### ▶ JLA関西地区事例検討会2019

開催日時	2019年11月17日（日）
開催場所	長岡京市産業文化会館
参加クラブ	天橋立LSC 淡路島LSC 大阪LSC 神戸LSC 明治国際医療大学LSC
出席者	JLA救急救命本部・溺水事故調査委員会・メディカルダイレクター (株)ピースフル・協賛 (株) ソラーレ 合計26名

- ・ 関西地区として初めて、海水浴場の監視業務を始め受託イベントの事例を各クラブが共有し、今後の活動につなげる会を主管した。





647



114



107

THANK YOU ! [KYOTOLIFESAVING] follower

2020/3/31



特定非営利活動法人京都府ライフセービング協会



625-0045 京都府舞鶴市多門院760

E-mail [office@kyotolifesaving.org](mailto:office@kyotolifesaving.org)

URL <http://kyotolifesaving.org/>